

(様式2)

平成 24 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1570201077 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人信濃川令終会 | | |
| 事業所名 | 第二グループホームこうなん | | |
| 所在地 | 新潟県長岡市渡沢町字早田53番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年10月10日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/15/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社団法人新潟県社会福祉士会 | | |
| 所在地 | 新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成24年11月27日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で、入居者の方々が笑顔で過ごしていただけるような場面作りに取り組んでいる。
入居者の方々が思うがままに過ごせるよう、食堂、畳の小上がり、アルコールの共用スペースの充実と、個々の居室で過ごされる時はプライバシーに配慮して、さりげない見守りや声掛けを行うことで安心して過ごされている。
年間を通じて様々な行事を計画し、四季を感じていただけるよう演出することで日々の生活の中での楽しみ、生きがいを感じていただけるよう支援している。
買い物、畑仕事、散歩等で外の空気に触れていただき、気分転換を図っている。
書道、編み物、ぬりえ、折り紙など、手先を使うことや、家事等を役割として行っていただくことで、自立し、張り合いのある生活を支援している。
同一視基地内にある特養、ショートステイ、デイサービスと協力して、入居者の馴染み深い利用者の方とこへ面会に行き、人間関係の継続を支援している。又、ケアハウスまで行き、本を借り、他利用者と触れ合うことでグループホーム外での人間関係を広げられるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の同一敷地内には特別養護老人ホーム、ショートステイやデイサービスの事業所、ケアハウスがあり、地域にとって重要な福祉サービスの拠点となっている。
事業所のある地区の自主防災会とは協力体制が築かれており、地域住民が参加しての防災訓練を実施したり、地元の祭りへの参加はもとより、事業所の納涼祭へも地域住民から参加してもらうなど、普段から地域とのつながりは強い。
利用者一人ひとりのそれまでの生活を大切にしており、馴染みの場所や人と触れ合うよう外出の機会を多く作っている。また、事業所内の設計においてはアルコールと呼ばれる集いの場所を設け、利用者同士で景色を楽しみながら談笑できるようにしたり、冬期間は室内で過ごすことが多くてもリビングの広い窓から外の景色が楽しめ、開放感がある造りになっている。
利用者の身体機能維持への働きかけにも力を入れており、歩行器を使用しての自力歩行を手助けするなど、一人ひとりの力が最大限発揮できるよう支援している。
理念に掲げている「利用者主体のケア」の実現に向けて、管理者を中心に職員全員で利用者一人ひとりのケアについて検討し、その実践に日々取り組んでいる事業所である。